

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 住友金属鉱山(株)播磨事業所

1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針

- ・当事業所では、ISO14001：2004，を取得し、環境保全活動に関する方針等については、環境マニュアルの中で「環境方針」において宣言しています。

住友金属鉱山(株)播磨事業所は温暖で利水にも恵まれた自然環境にあって、瀬戸内海に面し陸海交通も利便な西日本の工業発展の要所である東播磨臨海工業地帯を生産拠点とし、地球環境の保全の重要性を認識しながら、国民生活及び産業活動に不可欠な基礎材料である鉛・亜鉛などの地金供給と資源再利用のためのリサイクル業を通じて社会への貢献を目指します。「環境と調和した企業活動」をキャッチフレーズにして、住みやすい環境を次世代に残すために、環境の保全に努め、長年蓄積してきた環境保全技術・ノウハウを駆使し、常に自然環境を考え活動します。

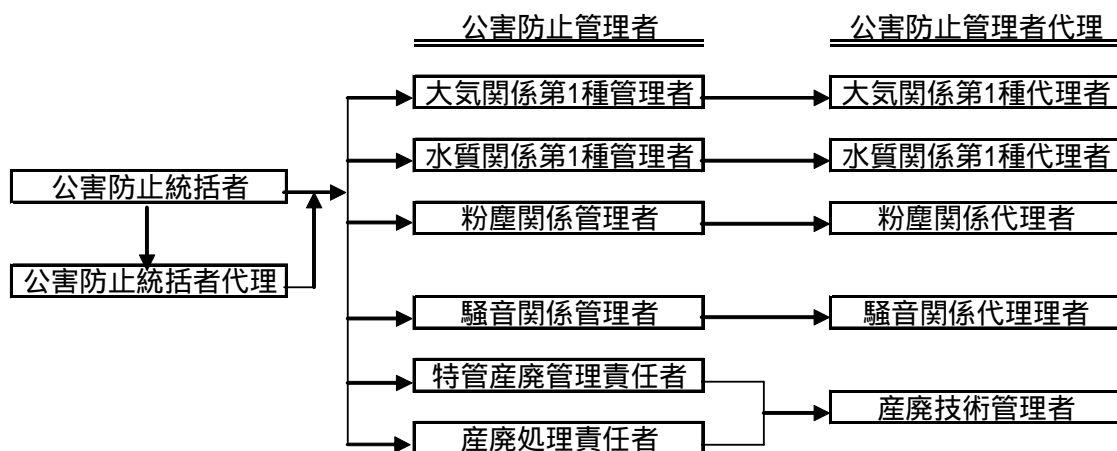
- ・2008年より、環境報告書に変えてCSR報告書を発行。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

* 公害防止管理組織をもって、環境保全活動に関する組織体制としている。

* 連絡体制については、環境情報処理管理規定において内部・外部，緊急/異常事態発生時報告ルートを示している。

公害防止管理組織系統図



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組み結果	今後の取組み計画
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・電気炉操業は順調に稼動し、操業を確立した。 ・販売先の新規開拓は、0件。 ・古紙の再利用を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉱さいの再資源化 (再資源化率 40%) ・コピー用紙の削減
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・外部監査時の指摘は特に無し。 ・2回/年の内部監査を実施。 ・内部監査員への教育(2回/年)を実施。 	審査機関による監査時の指摘 <u>0件</u>
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・6月1日、朝礼で所長より環境月間の講話を行う。 ・6月1日、正門で環境に対する啓蒙及びクイズのビラ配布 ・構内、海岸線の一斉3Sを実施。 	全所員への環境教育の実施 (100%の受講率)
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・CSR報告書の発行 	環境情報の公開 (1回/年の発行)
化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毒物・劇物について、不要物の処分を行い20%の在庫量を削減した。 ・PCB機器の管理状況の報告を行う。 ・PRTR法による報告を行う。 	毒物・劇物の適正管理
特定物質排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・重油からLPGへの一部燃料転換を実施。 	温室効果ガス排出量 原単位の削減